

3年次の家庭科でAALが行われました。

◆今号の記事は、技術・家庭科担当の櫛戸先生が書いてくれました。

3年次の技術・家庭科の家庭分野では主に**保育**について学びます。7月と秋以降の2回の**保育実習**に向けてと、児童文化財の一つとして「**折り紙**」に取り組んでいます。

今回は「**折り紙を使った壁面構成**」という題で班ごとに作品を製作しました。背景となる色画用紙と折り紙を選んで、大きさや配置を工夫して**15分程度**の短い時間で完成させました。完成後の作品を掲示して距離を置いて見ると、背景や折り紙の**色の選び方**、**作品の大きさや配置**によって大きく**印象**が変わることが確認できました。

保育所訪問では、**1歳児から5歳児**まで年齢ごとに分かれて実習を行なうので、自分が担当する年齢ではどんなものを選択して、どんな**工夫**ができるかを考えながら授業に取り組んでいってほしいと思います。授業の最後に生徒が書いた**振り返り**を掲載します。

- ◆折り紙を使った壁面構成は、単純なものでも配置などで**想像力が広がる**ものになると感じました。また、子どもたちが見ている世界は私たちとは少し違うということ念頭に置いて**配色や配置**を気にしないとイケないと感じました。
- ◆今まで折り紙を使った壁面構成をしたことがなく正直不安で、案の定ごちゃごちゃになってしまった。そこで次回からはたくさんあるものからいいものを取捨選択し、**シンプルで分かりやすいもの**を作ろうと思った。
- ◆机の上で見るよりも黒板にはったときの方が**余白の重要さ**がよく分かった。また、単純な色でサイズを変えた方が**見栄え**がよいと感じたので、自分も実習のときに実践したいと思った。
- ◆**色使いや配置**を考えて、折ったりはったりするのは、思っているよりも難しかった。また、作ってみて、机の上で見るのと、黒板にはったものを見るのでは**印象が変わる**と思った。



◆この授業は、「色」や「デザイン」を重視し、**感性**を磨いている点で、**AAL (アート・アクティブ・ラーニング)**になっています。将来、**大切なスキル**になることでしょう。